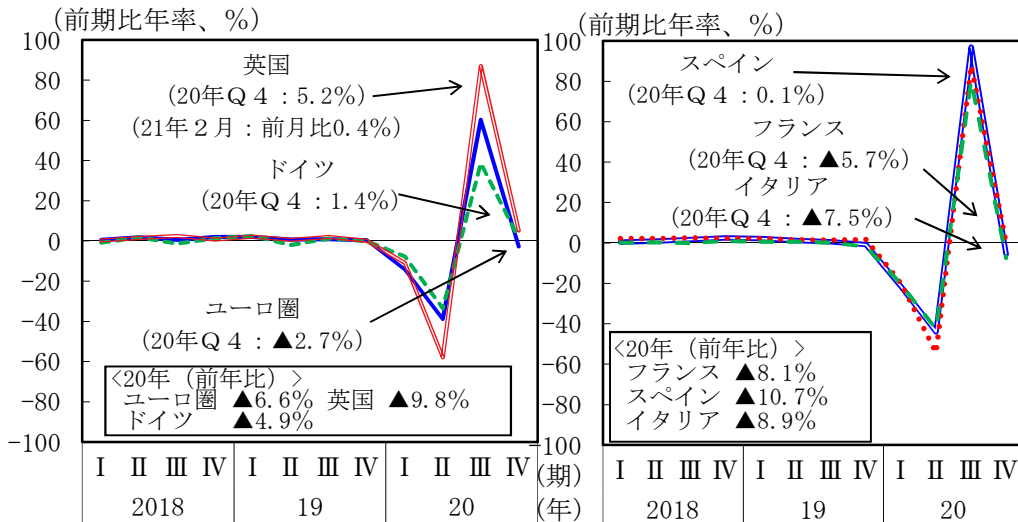


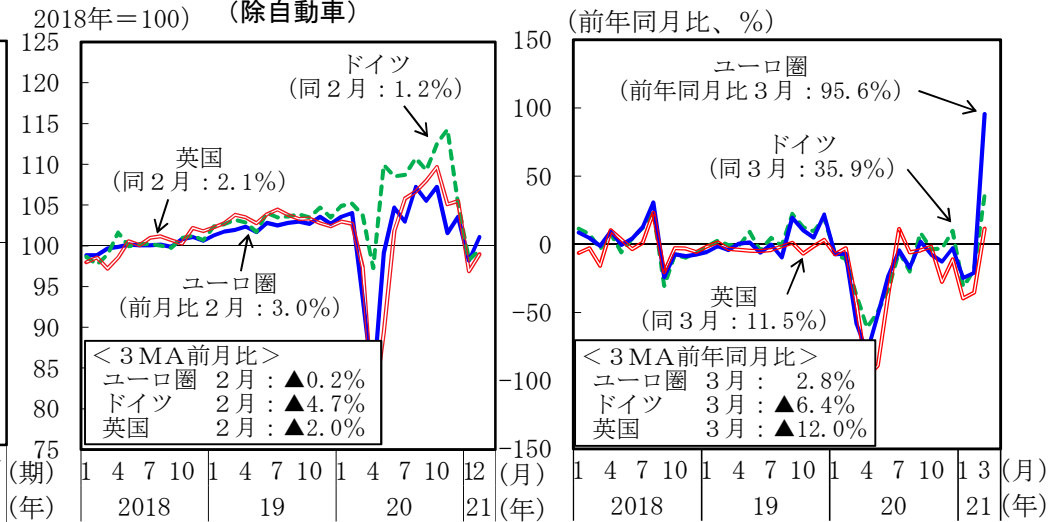
### 3. ヨーロッパ地域

○ヨーロッパ地域については、ユーロ圏では、景気は弱い動きとなっている。  
 ドイツにおいても、景気は弱い動きとなっている。  
 英国では、景気は弱い動きとなっている。

①GDP ユーロ圏：20年10-12月期は前期比年率▲2.7%成長  
 英 国：20年10-12月期は前期比年率5.2%成長

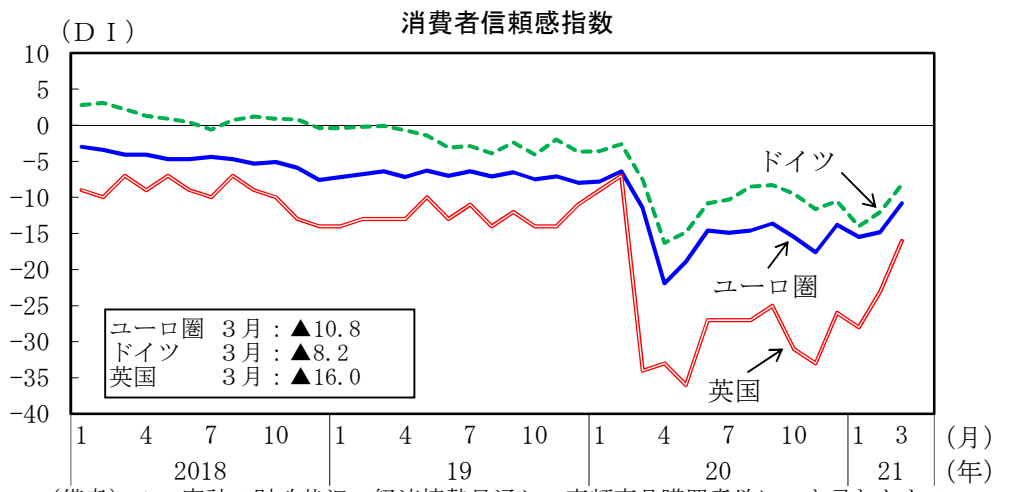
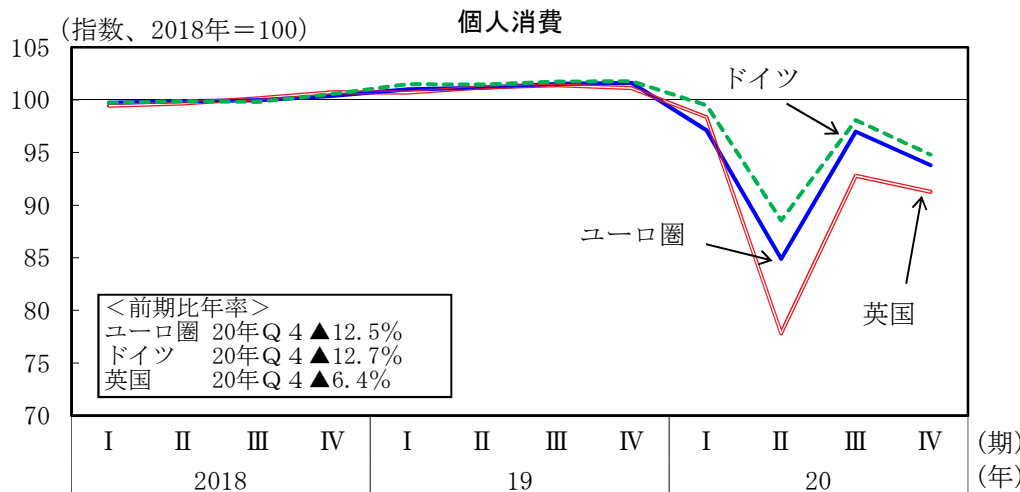


②個人消費 (指数、2018年=100) 実質小売売上 (除自動車) 乗用車登録台数



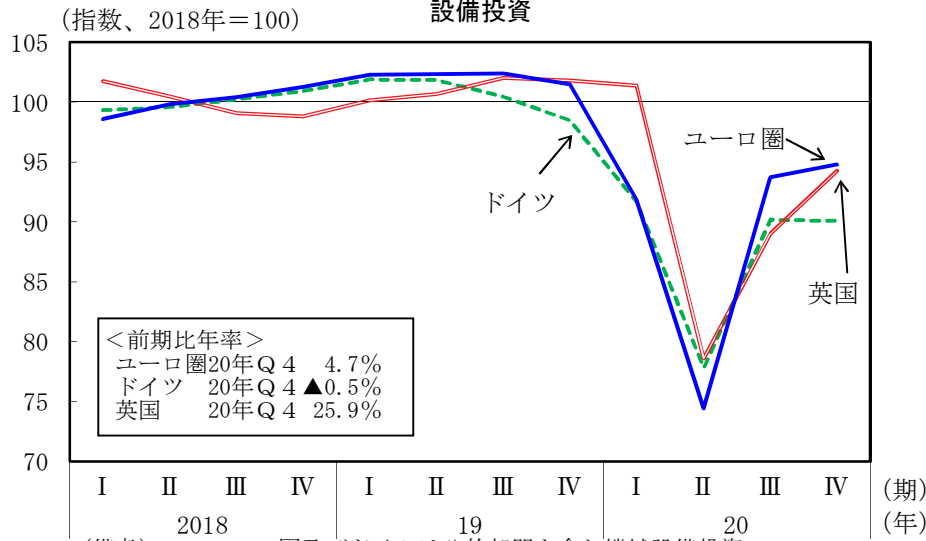
(備考) ユーロ圏は、キプロス、マルタを除く17か国ベース。

②個人消費 ユーロ圏：経済活動の抑制により、弱い動きとなっている  
 英 国：弱い動きとなっているが、一部に持ち直しの動きがみられる

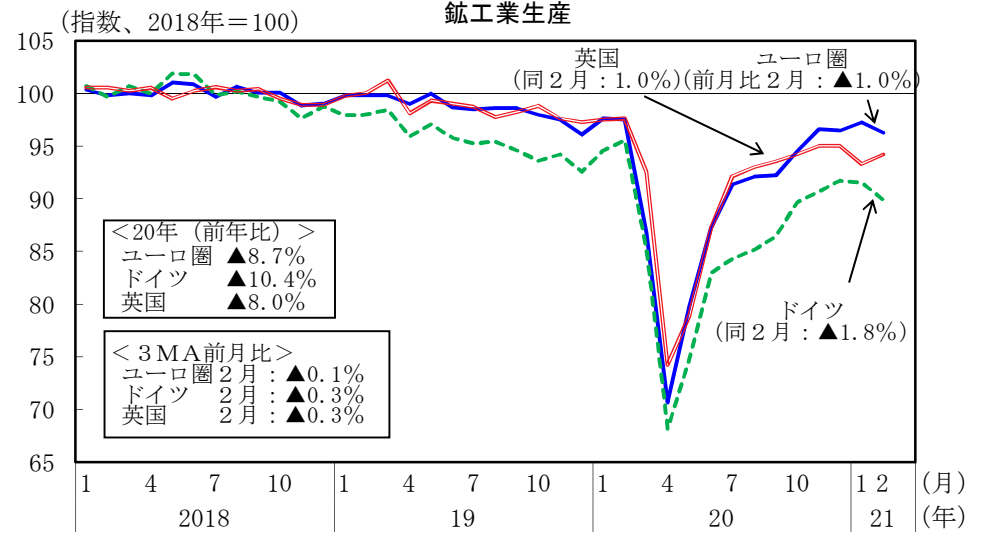


(備考) 1. 家計の財政状況、経済情勢見通し、高額商品購買意欲につき尋ねたもの。  
 2. 英国は原数値。

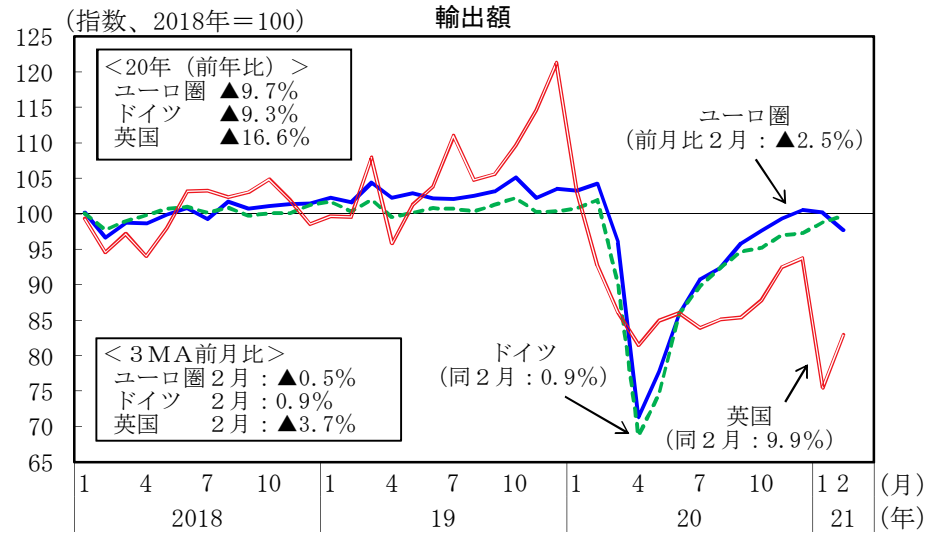
③設備投資 ユーロ圏：機械設備投資は持ち直している  
 英 国：設備投資は持ち直している



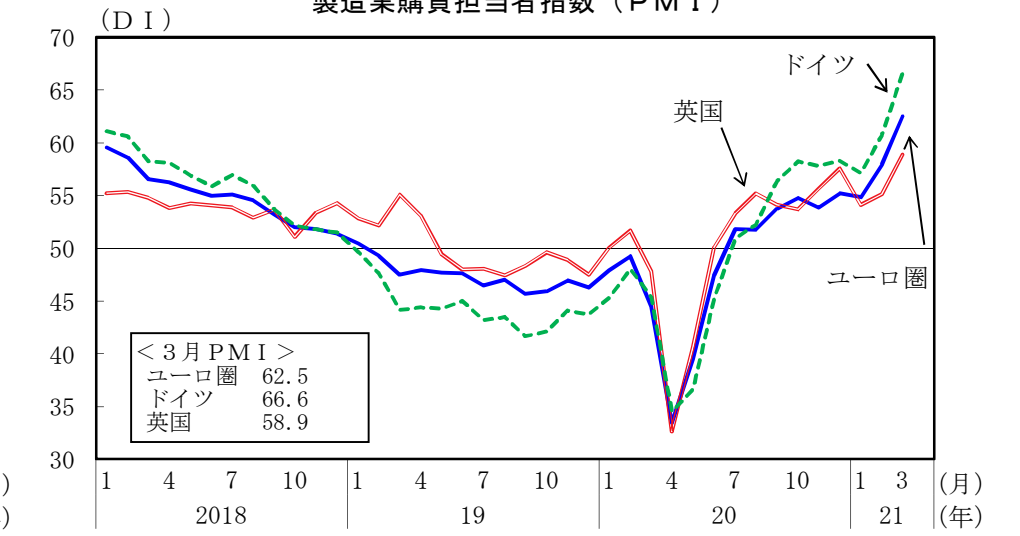
⑤生産 ユーロ圏：生産は持ち直している  
 英 国：生産は持ち直している



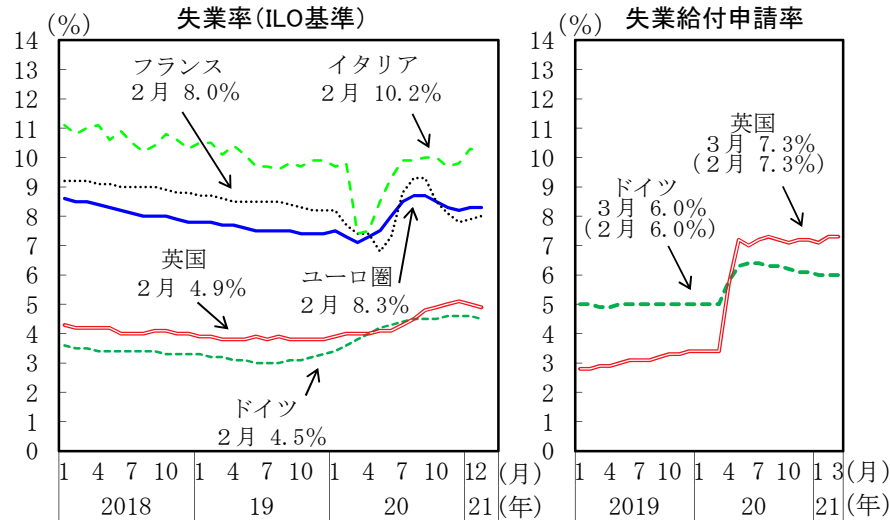
④輸出 ユーロ圏：輸出は足踏みがみられる  
 英 国：輸出は持ち直しの兆しがみられる



⑥製造業購買担当者指数（PMI）

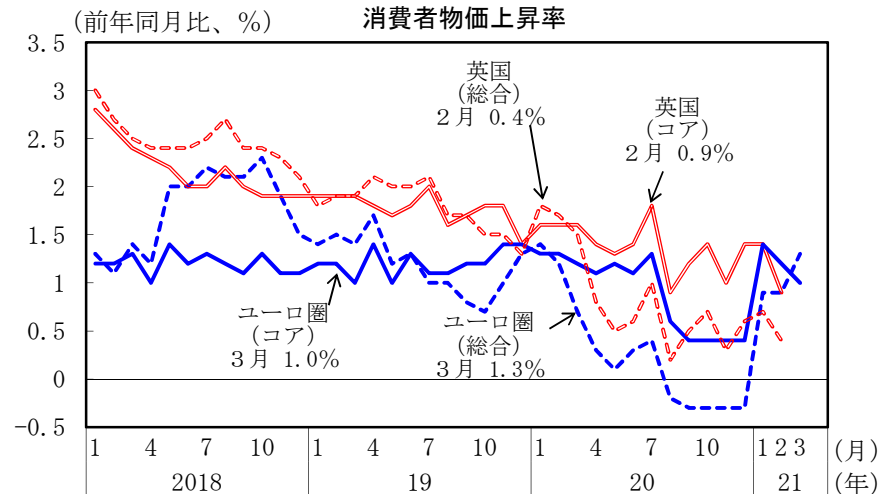


⑥雇用 ユーロ圏：失業率は横ばいとなっている  
英国：失業率はおおむね横ばいとなっている



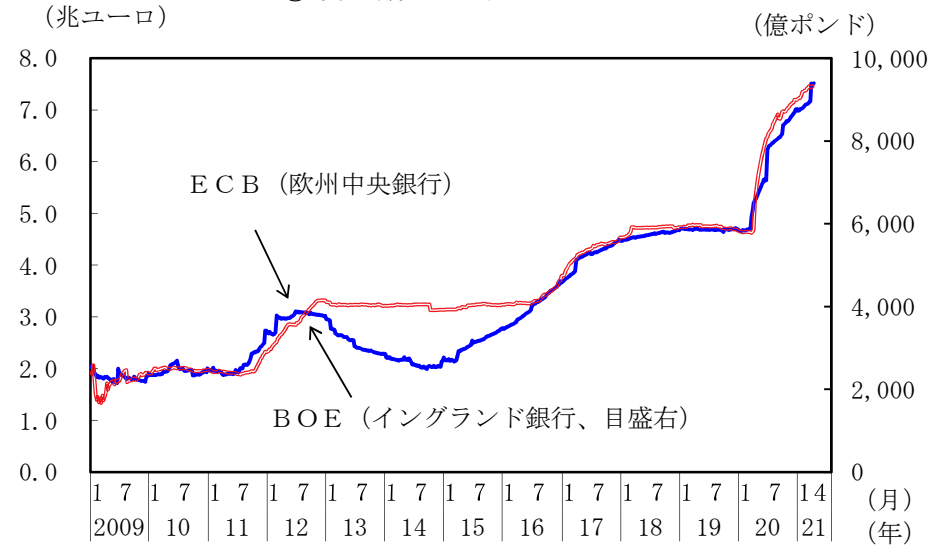
(備考) 失業給付申請率は、ドイツは失業登録者数が労働力人口に占める割合、英国は失業関連給付申請件数が就業者数及び同申請件数の合計に占める割合。

⑦物価 ユーロ圏：コア物価上昇率はおおむね横ばい  
英国：コア物価上昇率はおおむね横ばい

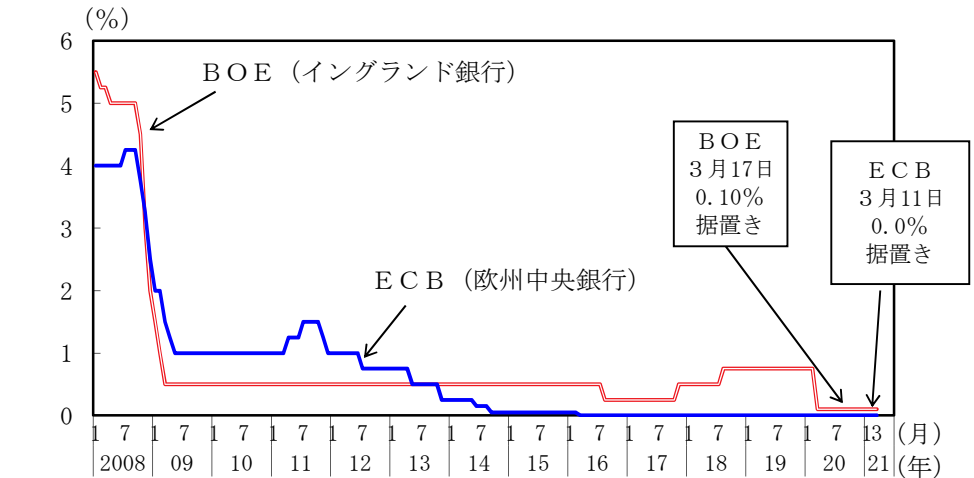


(備考) 1. ECBのインフレ参照値は2%を下回りかつ2%近傍。BOEのインフレ目標は2%。  
2. コア消費者物価は、総合からエネルギー、非加工食品を除いたもの。

⑧中央銀行のバランスシート



⑨政策金利 ユーロ圏：欧州中央銀行 (ECB) は据置き  
英国：イングランド銀行 (BOE) は据置き



(備考) ECBでは、2014年6月より中銀預金金利にマイナス金利を適用 (現在▲0.50%)。その他に、スイス、デンマーク等で中銀預金金利にマイナス金利が適用されている。